

2018年度

保育理念	すべての子どもたちを人として尊び、そして今が幸せであり希望あふれる未来を創造する支援を行う
------	---

発達過程		I おおむね6ヶ月未満	II おおむね6ヶ月から1歳3ヶ月未満	III おおむね1歳3ヶ月から2歳未満	IV おおむね2歳	V おおむね3歳	VI おおむね4歳	VII おおむね5歳	VIII おおむね6歳			
クラス編成		なずな・ぶち なずな・たくみん1			すずな・ぶち すずな		ききょう・ぶち ききょう・たくみん2		なでしこ 1	なでしこ 2・たくみん3		なでしこ 3
保育目標		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児				
配慮		生命の保持 情緒の安定	健康や安全に配慮し、一人ひとりの生活リズムを大切に、生理的欲求が十分に満たされるようにする。 保育者との応答的な関わりの中で愛着関係を築く。	生理的欲求を満たし、生活リズムが形成されるようにする。 愛情豊かで応答的な関わりのもと、安心して自分の思いを表す。	保健的で安全な環境のもと、快適に生活できるようにする。 自分でやりたい、出来ない等の葛藤や甘えを受け止めてもらいながら、自分を肯定する気持ちを育む。	身の回りのことを少しずつ行う中で、健康で安全な生活に必要な習慣を身につける。 自分の気持ちを安心して表現し、周りから主体として受け止められ、安定感を持って過ごす。	生活習慣が身につき、自分で出来ることへの喜びを感じ、自ら行動しようとする。 周りの友だちや保育者に気持ちを受け止められる中で、相手を思いやる気持ちが育つ。	生活に必要な習慣や態度を身につけ、自信を持って生活する。 情緒が安定した中で、自分の気持ちを安心して表し、意欲的に活動する。	健康や安全に必要な基本的習慣や態度が身につき、自主的に行動する。 感情の調整をしながら、人との関わりを深め、自己肯定感が育つ。			
教育		健康	保育士との温かい触れ合いの中で、自ら体を動かそうとする意欲が育ち、探索活動が活発になる。	運動機能が発達し、自ら体を十分に動かし、自分でやってみようとする気持ちが育つ。	走る跳ぶ等の運動機能や指先の動きが発達し、様々な活動を通して、自分の力でやり遂げる充実感を味わう。	基本的な運動機能が育ち、生活に必要な習慣が少しずつ身につく。	基本的な生活習慣が身につき、自ら生活の場を整えながら見通しを持って生活する。	運動機能が高まり、仲間と共に活発に遊ぶ。 自分の健康に関心を持ち、体を大切にすることを育つ。	全身運動が滑らかで巧みになり、諦めずやり遂げることで、自信を持って活動したり、前向きな見通しを持ち生活する。			
		人間関係	保育者との受容的・応答的な関わりのもとで、愛情や信頼感が芽生える。	保育者等との愛情豊かで応答的な関わりの中で、情緒的な絆が深まる。 保育者や友だちと共に過ごす心地よさを感じる。	自己主張が盛んになり、友だちと気持ちが通じ合ったり、ぶつかり合う経験を通して徐々に周りの人と関わる楽しさを味わう。	身近な大人や友だちに親しみを持って関わろうとする中で、少しずつ相手の気持ちに気付く。	友だちと積極的に関わり合いながら、様々なイメージを共有し、工夫したり協力する。 友だちと喜びや悲しみを少しずつ共感し合う。	仲間の一人としての自覚が生まれ、生活の中で自分の役割を果たしたり、きまりを守ろうとする。	自分の良さや特徴に気づき、力を十分に発揮しながら、集団の中の一人としての自信を持ち、一緒に活動する中で充実感や達成感を味わう。			
		環境	身近な環境に興味を持ち、自ら関わろうとする。	身近な様々な環境に関わる中で、発見を楽しみ興味の幅を広げる。	身近な物や事柄に関心を持ち、興味を持ったものに繰り返し触れる中で、好奇心や探究心が増す。	身近な環境に親しみ、少しずつ自分から関わり、生活に取り入れようとする。	身近な環境に自分から関わり、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。	様々な環境に関わる中で、じぶんで考え工夫して遊ぶ。 自然と触れ合う中で、様々な事象に興味を持つ。	自然事象や社会事象、文字への興味関心を深め、探究したり、思考力を高める。			
		言葉	保育士等の応答的な関わりの中で、伝えようとする意欲が育まれる。	保育士等との応答的なやりとりを通して、自ら言葉で表現しようとする。	保育士等の言葉を繰り返したり、遊びの中で興味を持った言葉を通じて、身近な人と気持ちを通わせる。	話し言葉の基礎ができ、経験したこと、考えたことを表現し、相手の話に親しみを持って聞いたり、話したりする。	自分の思いや経験したことを伝えたり、相手の話を聞き、伝えあう喜びを感じる。	言葉により共通のイメージを持って遊んだり、関わりの中で心を動かされる	友だちと関わる中で、協調したり、お互いの意見を聞き、新しい考えを生み出す喜びを味わう。			
		表現	体の動きや表情、発声、喃語、仕草等で欲求や気持ちを安心して表現する。	諸感覚を使った経験を豊かにし、様々な感覚を味わい、自分なりに表現しようとする。	興味のあることや経験したこと等を生活や遊びの中で自分なりに自由に表現する。	友だちと共通したイメージを持ち、様々な表現する楽しさを味わう。	友だちと一緒に表現する楽しさを味わいながら表現する意欲が高まる。	様々な素材や表現に親しみ、工夫して生活や遊びの中に取り入れる。	様々な素材の特徴や表現の仕方等に気づき、感じたこと、考えたことを豊かに表現する。			
食育		食を営む力の基礎	様々な食材の感触や味に触れ、自ら食べようとする意欲が育つ。	様々な食材に触れ、自ら意欲的に食べる。	楽しい雰囲気の中で自ら食べることを通し、食事に必要な習慣を少しずつ身につける。	食材への興味が広がり、食事に必要な習慣や態度を身につける。	野菜等の栽培を通して、食への関心を深め、食と体のつながりに気づく。	栄養と体の関係に興味、関心を持ち、食への理解を深める。	食事の意味を理解し、正しい食習慣が身につく。食への関心を深め、自らの体を大切にすること。			
保健			衛生的で安全な環境のもと、一人一人の生活リズムが基盤となり安定して生活する。	人的・物的環境を整え、活動量の増加に伴う怪我や自己を防止する。	丁寧な手洗いの仕方に興味を持ち、少しずつ自ら清潔を意識する。	衣服の調節や手洗い・うがい等の意味を少しずつ理解し、自ら行おうとする。	自分の体を大切にすることを育ち、病気を予防することへの関心を持ち、生活の中に取り入れる。	健康に過ごすために体を十分に動かして遊ぶことや、食事の意味を理解し、自ら気をつけて生活する。	健康に過ごすための習慣が身につき、自ら考え工夫して生活する。			